

青森県「地域の未来づくりサポート事業」

「地域づくりインターンシップ」募集要項

地域名（受入組織）：むつ市（脇野沢コミュニティセントープロジェクト）

最寄り駅及び所要時間：J R大湊線大湊駅からバス60分

地域及び組織の概要

陸奥湾と平館海峡に面するむつ市脇野沢の基幹産業は漁業であり、特産のマダラをはじめホタテ・マダイ・ヒラメが水揚げされるほか、漁師が手作業で焼き上げる焼き干しは、高級なダシとして有名です。

しかしながら、当地区は高齢化率47.7%で市内でも著しく高く、人口減少率も過去10年間では33%と少子高齢化の厳しい現実さらされています。

昭和56年に当地区に開業した脇野沢温泉は、観光施設及び地域住民の憩いの場として賑わっていましたが、度重なる故障に伴い平成27年9月から休止していました。

この度、公衆浴場の復活を望む声が地域住民や当地区を訪れた方々から多数寄せられたことを受け、改修工事を行い「コミュニティセントー（銭湯）」として来春オープンする予定です。

リニューアルに当たっては、施設を単に公衆浴場として復活させるのではなく、銭湯を地域コミュニティの中で継続させていくための人と人が繋がる仕組みを盛り込んだ小さな拠点として、地域住民自らの手で運営していくことを目指しており、現在、市や地域で活動するまちづくり団体等、そして住民一人ひとりが銭湯の活用を「自分事」として考えながら、ワークショップ等でアイデアを出し合い、プロジェクトを進めているところです。

活動内容

脇野沢コミュニティセントーを、「小さな拠点」として地域住民自らが運営し、これを活用して稼いでいくという目標に向けて、『大学生』という「よそ者・若者」の視点・パワーを地域に吹き込み、大学生の力でどのようなサポートができるか、プロジェクトの一員として一緒に考えていただきます。

そのために①地域を知る活動（漁業体験等）、②地域を若い力でお手伝いする「助っ人」活動、③地域の子どもたちとふれあう活動、④「コミュニティセントー」ワークショップの活動を行います。①～③は、④のためのフィールドワークとして、様々な体験活動やその中で接する住民から地域の「ナマ」の声を聞きながら、「コミュニティセントー」へのアイデアに繋げていただきたいと思います。

活動期間

平成29年8月7日（月）～8月13日（日） 左記期間中の5日～7日間。

受入条件

①宿泊場所：民泊予定（山崎輝美子さん宅）

②自己負担：宿泊代・朝食夕食費等合わせて3,000円/日

＊期間中の昼食は実費負担となります。（昼食場所については体験場所及び地域内の食堂を予定）

③支給費：7,000円/日の費用を支給（期間終了後口座振込とします）

募集人数：3～5名程度（応募者多数の場合は書類選考を実施します。）

応募条件：県内外の大学（大学院および短期大学を含む）に在籍する学生であること。

大学生協学生生命共済および学生賠償責任保険または同等の保険に加入をしていること。

申込方法：申込用紙に記入の上、メールでお申し込みください。

申込締切：平成29年7月7日（金）17時メール必着

結果通知：平成29年7月10日（月）以降にメールで通知します。

【問い合わせ・申込先】

国立大学法人弘前大学大学院地域社会研究科

担当：竹ヶ原 公 E-mail takegahara2002@yahoo.co.jp